

No.	要望・提案 内容	語る会当日の市長答弁	担当課からの回答
1	<p>「勝山の日」を作ること。例えば勝山にちなんで毎月28日を「勝山の日」とし病院と消防署以外のすべての会社と学校を休みにするというものである。もちろん宿題もなし。家族でゆっくり団欒したり勝山の自然と触れ合ったりする日にすると、市民のやる気と手ごたえも強まるのではないだろうか。</p>	<p>勝山の日28日、すべて休みというのはおもしろいアイデアだけれど、28日に特別な意味はあるの？（生徒：かつやまの「か」が「加える」という意味で「+」、「つ」が英語のtwoで「2」、「や」が漢字の八で「8」、「ま」が〇で、+28〇）それ考えたの？（生徒：執行部で考えた。）メモしておいて、わからなくなるから。それはおもしろい発想だけど、企業のみなさんが一斉にやってくれないといけないから課題としては残るけれども、発想としては何かに生かしたい。毎月じゃなくて、1年に1回ぐらいはやってみたいね。</p>	<p>未来創造課                      全国には1年に1日、「市民の日」を設けている自治体があり、その日は郷土の歴史や自然、文化に誇りを持ち、郷土愛を深めることとしています。                      たいへん面白い発想であり、ぜひ検討していきたいと思います。                      ただし、単に休みにして宿題もなくすということではなく、たとえば学校と協力して郷土の歴史を探るイベントを開催し、郷土愛の醸成を図るといった目的を設定することも必要であると考えます。</p>
2	<p>勝山と同じように大野にも素晴らしいものがたくさんある。奥越で一つになってPRすれば、奥越全体が活気あふれる場所になる。</p>		<p>未来創造課                      勝山市と大野市で構成されている「大野・勝山地区広域行政事務組合」という組織を作っています。ここでは、提案にあるような奥越全体での広域観光を推進しています。両市の観光関係団体等で構成され、広域行政事務組合が事務局をもつ「奥越前観光連盟」では、パンフレット等を使った宣伝活動はもちろん、「奥越前良縁さんぼ」という事業も行って、これは大野と勝山それぞれで販売されている絵馬を一つに併せて、縁結びにご利益のある神社に奉納するというもので、こういった奥越に観光客を呼び込み、周遊してもらい取り組みも行っていきます。今後も勝山市と大野市一体となり観光等を推進していきます。</p>
3	<p>将来薬剤師や教師になりたいなどの夢を持った人がいる。ほかにも陸上競技場を立ててほしいという声もあった。これはあくまでも例であるが、こういう夢や望みを実現するためにも勝山市の都市化は不可欠である。</p>		<p>未来創造課                      勝山市は日本最大の化石発掘地であり、貴重な地質遺産を持つ「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」や世界三大恐竜博物館に数えられる「福井県立恐竜博物館」があります。恐竜博物館の駐車場に物販・飲食施設を併設した観光案内所「勝山市ジオターミナル」が完成し、たくさんのお客様に利用されています。他にも、白山開山1300年で注目された平泉寺、スキージャンプ勝山、「ゆめおーれ勝山」、作家の椎名誠さんが絶賛されている左義長まつり、アメリカの経済紙「フォーブス電子版」で「世界で9番目にクリーンな都市」と評価された清潔な景観など、勝山市にはまだまだ多くの見どころがあります。また、勝山市は市内すべての小中学校がユネスコスクールに加盟しており、地域子どもたちが環境保護活動を通じて郷土の自然を学ぶESDを導入しています。さらに、勝山市は文科省が指定する北信越で唯一の英語教育強化地域に指定されており、小学校3年生からの英語活動を先行して始め、その指導内容は全国的にも高く評価されています。                      勝山市は「自分をもっと故郷を面白くできるのでは」という可能性を感じられる、「ワクワクするときめきに満ちたまち」になることを目指しています。しかし、若い人を地域に縛り付けるつもりはありません。どんどん外に出て、自分の生き方を探る時期も大切にしたいと思っています。高速道路や新幹線の整備が進み、勝山市と首都圏、世界がさらに近くなるこれからの時代、人の生き方や企業のあり方もますます多様化していくでしょう。そんななかで、若い皆さんもあと数年で社会参加をする年齢となります。勝山市の取り組みから生まれた「誇り」という種を育てて、いつかは勝山市のためになりたいという思いを実現してください。が具現化することを願って、キラリと光るまちづくりに邁進していきます。</p>

No.	要望・提案 内容	語る会当日の市長答弁	担当課からの回答
4	<p>勝山に素晴らしい観光地や伝統があっても住民のわたしたちがそれらを知らないことには何も発信できない。だから、ひとり1回ずつ勝山の観光地に無料で入れる無料バス(フリー乗車券)を作るとよい。さらに、ほかの県の人をよんできたら割引されるなどの制度をつくれれば、勝山の発信につながる。</p>	<p>交通の便をよくすることについて。現在のえち鉄とかバスではまだ便は多くない？まだ少ない？(生徒：そうですね。)みんなが学校に行っている間にもバスは巡回している。なかなかいっぱいにならない。市の周辺部を回ってくるバスは、利用したい人がいるものの、利用したい人たちが利用したい時間を共有できていないということもあって、ひとりかふたりを乗せてバスが回っているということも多い。いかに利用してもらえるかということを考えて、停留所、時間帯、回るコースを毎年毎年考えている。だけど、やはり今のような状況である。これでいいというわけではない。自動車</p>	<p>市民・環境課                  現在勝山市では、えちぜん鉄道(株)が販売している「恐竜博物館セット券」の中に、勝山市内バスの1日フリー乗車券をセットにし、観光客の方が勝山市内の観光地を周遊しやすくする施策を行っております。                  (恐竜博物館セット券…えちぜん鉄道の1日フリーきっぷ、勝山市内バスの1日フリー乗車券および県立恐竜博物館の入館料がセットになっている企画乗車券)                  ご提案の割引制度ですが、費用対効果の検証や、観光施設との協議も必要のため、今後調査、研究していきます。</p>
5	<p>勝山にたくさん観光客に来てもらうためにPRするが、来てもらってから交通の便がよくなりたいへんである。だから、電車やバスの本数を増やしてほしい。勝山から福井に行く人も良くいるし、福井までではなくても、勝山駅までバスを利用したいという人もいます。その人たちのためにも増やしてほしい。</p>	<p>動車を運転していた人の高齢化が進むと、運転ができない年になったときに、移動する手段がないと困る。だから、バスは非常に重要な交通機関だと思っている。さらに研究を重ねて、高齢者の人も乗りやすい、そして、みんなも乗りやすいようなバス体系を考えていく。えち鉄は、勝山の場合はほかの自治体と違って、恐竜博物館や平泉寺に来てらっしゃる方の利用率がだんだん高まってきている。その需要と、通勤や通学のために使っている方々の利便性を高めるために、さらに今の時間帯でいいのかどうかということは検討していく。恐竜博物館はシーズン制があるから、シーズンには増便するなど対応できないかと思っている。</p>	<p>市民・環境課                  観光客向けの公共交通機関ですが、電車につきましては、福井駅から「えちぜん鉄道勝山永平寺線」が勝山駅まで通っており、朝5時から夜23時まで30分おきに運行されております。バスにつきましては、観光客の入込が最も多い「県立恐竜博物館」へは「恐竜博物館直通バス」が通っており、恐竜博物館の開館時間に合わせて朝9時から夕方17時30分まで30分おきに電車と接続するよう運行しております。                  勝山市民向けの公共交通機関ですが、勝山市が運行する「コミュニティバス」が9路線および京福バスが運行する「京福バス勝山大野線」があり、すべての便が勝山駅に接続しております。                  電車やバスの増便についてですが、電車につきましては、線路が単線(相対する方向への列車を1つの線路のみで運行する区間のこと)であることや、車両の台数に限りがあるため、増便は難しいと思われませんが、運行の時間帯につきましては、今後えちぜん鉄道(株)と調査、研究して参ります。                  バスにつきましては、今のところ、勝山駅までバスの本数を増やしてほしいという意見や要望はありませんが、利用者のニーズを細かくところまで把握し、よりよいバス体系となるよう調査、研究していきます。</p>
6	<p>野向の竜谷に住んでいる。中学校から遠いので普段は自転車で通学している。雨や雪の時はバスで通学している。バスで通学したときは帰りのバスは6:01。部活動は6:00に終わるので、最後まで活動することができない。だから、部活動を早めに切り上げて帰っている。僕はバレー部に所属をし、県ベスト4を目標に練習に取り組んでいる。部活動は最後までみんなと頑張りたい。だから、バスの時間がもう少し遅くなるとうれしい。(20~30分程度)</p>	<p>バスが6時に来てしまうと、帰れなくなるということだね。これは何とか考える。どれくらい伸ばしたいの？(生徒：10分ぐらい。)10分でいいの？(校長：せめて20分ぐらいで。)実情も調査をして、取り組めるかどうか考える。</p>	<p>市民・環境課                  ご要望のバスは、勝山市コミュニティバス荒土・野向予約便下り(勝山駅→野向・荒土方面)第4便となります。この便には、勝山中部中学生の他に、勝山高校生および勝山北部中学生が下校時に利用しておりますが、勝山中部中学校を20~30分遅らせると、前後の学校も時間を遅らせることになります。中でも勝山北部中学校の場合は、19:00頃の到着となり、北部中学生に長時間バスを待ってもらうこととなります。                  公共交通機関である路線バスは、タクシーとは違い、すべての方のご要望に応えることが難しいのが現状です。また、路線バスのダイヤを変更する際は、市の地域公共交通会議を経て運輸局へ届出し認可される必要があります。最短でも3か月かかります。                  ご要望の内容が実現可能か検討および調整を続けて参ります。</p>
7	<p>永住権というのを取ってもらって、勝山市にずっといてもらう。</p>	<p>永住権について。これは、難しい話だね。どういうこと？外国人の話？(生徒：ほかの県の人とか、外国人の人たちで勝山に住みたいと言っている人たちにその権利を取ってもらって、勝山にずっといてもらおうという提案である。)これは国の仕事で、一地方行政にはできないと思う。このような動きも外国人労働者の件で話が出てくると思うから、注目してほしい。</p>	<p>ふるさと創生・移住課                  少子高齢化は日本全体の問題で、労働力を中心に外国人の協力が不可欠な時代になってきました。                  国は、外国人労働者の受け入れを拡大する出入国管理及び難民認定法を改正し、一定の技能を持った外国人労働者を長期的に滞在できるようにしました。                  永住権とは異なりますが、今後日本も、日本人だから、外国人だからという考えを改めて、そこに住む人が快適な生活を送れる町を目指していかなければなりません。                  国の目指す方向性をしっかりと見極め、勝山市らしさを大切にしながら、住民満足度の高いまちにしていきたいと考えています。</p>
8	<p>勝山市に新しく引っ越してきた人たちに、治療費を負担したり、病院のお金を少し補助する制度を作ったり、家を新しく勝山に建てる時にお金を少し補助する。</p>		<p>ふるさと創生・移住課                  移住者の方が家を建てる時やリフォームを行う場合、条件により異なりますが、最高200万円の助成を行う制度が既にあります。詳しくは勝山市役所 建設課までお問い合わせください。</p>

No.	要望・提案 内容	語る会当日の市長答弁	担当課からの回答
9	<p>子育てのしやすい環境づくりを各企業などでもらう。例えば、保育所とか学校とかが減ってきているので、そこを減らさずに頑張って作るとか、働く場所を残しつつ、子どもたちが学校や保育所に入りやすいような子育てをしやすい環境づくりのこと。</p>	<p>企業に保育所ということについて。大きな繊維会社が、昔自分たちの会社の中に持っていた保育所がある。それが今、勝山の私立の保育所としてずっと引き続いて存在している。例えば、松文保育園さんとか白木保育園さんとかケイテー保育園さんとか、企業の名前がついている保育所はそこから発祥している。企業内で教育をすることという取り組みは勝山市は全国に先駆けてものすごく早くからやっている。ほかの町ではどちらかというと、本来行政が作る保育所のほうが多くあるのだけれど、勝山市の場合は、企業が作ってきた保育所が多く、非常に大きな施設となっている。その伝統が今でも続いている。都会でよくあるような待機児童、保育所に入れたいが保育所の定員がいっぱいでなかなか入ることができないという状態が全くない。だから、保育に対する政策は十分にやっていると思うし、保育料も安い。福井県でも、一番目、二番目に安い。子育ての環境というのをよくするという努力をこれまでしてきた。もう一つは、みなさんも小学生の頃に通っていたと思うが、放課後児童クラブ、いわゆる、〇〇ザウルスは無料である。お父さん、お母さんの負担はない。大野市も一部そうだが、県下、あるいは全国で調べてみると、無料の地区はほとんどない。勝山市は保護者の負担を少なくするための施策をやっている。子育て支援の大きな項目だと思っている。</p>	<p>福祉・児童課 勝山市は古くから繊維産業が盛んで、市内には大きな繊維会社、4社が事業を行っていました。織子と呼ばれる従業員の多くは女性であるため、乳幼児を預かる保育所を会社内に設置し、安心して働ける環境を整えてきました。 それが今、市内の私立保育園として、「松文保育園」、「しろきこども園（しろき保育園）」、「ケイテー保育園」、「南保育園（やまぎし保育園）」と引き継がれ現在に至っています。このように保育園の名前に企業名がついているのは、このことに由来しているからです。 現在、勝山市内には、公立保育園が2園（平泉寺、野向）、認定こども園が3園（しろき、きた、上野）、私立保育園が6園（松文、南、ケイテー、中央、鹿谷、北郷わしのこ）、公立幼稚園（勝山中部、成器南）の乳幼児保育、教育施設があります。全国的にみると、公立保育園等が主流ではありますが、勝山市では企業が設置してきた私立保育園が多く、全国に先駆け、早期より事業所内（会社）で乳幼児のための保育、教育を行ってきたことがわかります。 東京、大阪などの大都市圏では、待機児童が問題となっています。保育園に預けたいが施設不足により、定員一杯となり希望する保育園に入園できないという問題です。しかし、勝山市では、待機児童は「ゼロ」で希望する保育園で安心して子供を預けることができます。 保育料については、国が決めている保育料の約50%を軽減、第3子以降の保育料を無料、低所得世帯の軽減など、福井県内ではトップクラスの子育て支援策に取り組んでいます。 また、皆さんも小学生の頃に利用したことがある児童センター（児童館、児童教室、児童ホール）については、勝山市では、留守家庭児童だけではなく、希望するすべての児童が無料で利用できるため、お父さん、お母さんの経済的負担はありません。このことは全国的にも勝山市だけで、共稼働きの割合が高い勝山市の保護者・家族の方が安心して働ける環境に配慮した自慢できる福祉サービスとなっています。 このように、勝山市は子育て世帯を応援し、保護者の経済的負担を軽減するため、今後も引き続き、積極的に子育て支援に取り組んでいきます。</p>
10	<p>修学旅行で勝山に来てもらい、勝山の中学生が市内を案内して、都会では体験できないことを体験してもらい、左義長のように伝統ある祭りや豊かな自然、恐竜博物館以外にもたくさんの観光名所をより多くの人に知ってもらい活動</p>	<p>大人も子どもも一緒に楽しめるイベントという話があった。勝山市は夏祭りをやっている。はっきり言って盛り上がりがない。みなさんに聞いてみたいこともある。君たちがもっと小さいときによさこいをやっていた。覚えてるか？特に鹿谷小学校は「鹿谷童子」として、君たちもやったかな？（生徒：はい。）楽しかった？（生徒：はい、楽しかったです。）今いろいろ盛り上げを考えている。いいことをもう一回再チャレンジしてもいいかなという気持ちもあるので、またみなさんの気持ちを聞く。</p>	<p>観光政策課 修学旅行は、各学校でコースが決まっていることが多いため、新たに誘致していくことは難しいです。しかし体験学習の誘致は、豊かな自然だけでなく雪の活用など色々な素材があるため売り込む要素はあると思われます。 今後、旅行社への宣伝の中に、体験メニューも合わせて情報発信を行うなど、長期的に取り組んでいきたいと考えております。</p>
11	<p>勝山で大きなイベントがあるのなら、子どもから大人までが企画から参加できるイベントにするというと思う。勝山の人にはよくボランティアなどに参加していて優しいと思うし、子どもも大人も仲がいい。その ようなイベント開いてもらえたら、中学校全体で手伝いたいと思う。</p>	<p>これも鹿谷の話だが、冬のイベントで、鹿谷町雪まつりというのがある。これもいつもたくさんの人 coming。勝山市内でも、例えばジオアリーナの駐車場を使って、雪の造形とか雪まつり的なことができないかという、わたしの心の中だけの思案を持っていて、実現したいと思っている。雪がたくさん降った時に、あの駐車場を融雪するのでなくて、除雪車で雪を積み上げるから、すごい雪の山ができる。僕は雪の遊びが好きだから、高い雪の山にスロープを作ってそりをやったり子どもたちが遊んだり造形したりすると、勝山市の雪まつりができるんじゃないかなと思っている。これも考えることにする。</p>	<p>観光政策課 平成28年度より夏の帰省時期に市街地において市民が賑わえるイベントとして「勝山灯りまつり」を開催しています。 「勝山灯りまつり」は、花月楼を中心にしたエリアの通りをLEDライトで彩るとともに、エリア内で音楽イベントなどを同時開催することにより、まち歩きを楽しんで頂くイベントです。来年度においても音楽イベントや、灯りに絵を描いていただくなど多くの市民にも携わっていただくことを計画しておりますので、中学生のみなさんにも参加していただけるように検討させていただきます。</p>
12	<p>わたしたちの学んだことをもっと発信していきたい。勝山市のHPの観光情報のコーナーにわたしたちのまとめた学校新聞やレポートなどを掲載してほしい。市民の人たちにはわたしたちの学んだことを紹介することができる。ほかの県の人たちが見れば勝山市のいいところを知ってもらいきっかけになる。</p>	<p>HPで発信することについて。学校全体で、君たちが何を学んで何をしているかということ発信したいんだっただけかな？（生徒：わたしたちの遠足とか14歳の挑戦とか修学旅行で学んできたことをまとめたものです。）まとめたことを発信したいということだね。これもやりましょう。</p>	<p>観光政策課 勝山市のホームページ上に各学校のホームページのリンクを張ることにより、多くの勝山市民の方々に学校活動を知って頂くとともに、勝山市の情報発信のツールとして活用できますので連携して取り組んでいきたいと考えております。</p>

No.	要望・提案 内容	語る会当日の市長答弁	担当課からの回答
13	例えば街中に描いてある恐竜の足跡をもっと増やして色分けをし道案内のパネルの代わりにするという案が出た。	街中に恐竜の足跡とか第2恐竜博物館とかいう話があったが、少子化とはあまり関連しないように思うが、子どもたちにも楽しめるような町を作って子どもを産みましようということか？(生徒：はい) 少子化対策のためには、いろいろ考え方があ	観光政策課 恐竜足跡を描いた道案内のアイデアについては、まちなか散策時には有効だと思われますので、まちなかの景観に考慮するなかで検討していきたいと思
14	恐竜の足跡を増やして、色を分けて、道案内の看板の代わりにする。まず、勝山市に興味を持ってもらうことが大事だと思った。勝山に来てもらったときに「恐竜がいっぱいあるし楽しそうだな」と思ってもらえる町づくりをするのが一番かなと思	だらうけれども結婚してもらおうということ。あまり言いすぎるとよくないことなんだろうけれど、健康なお子さんがたくさんできることを祈っている。みなさんにもそういうような時期があつという間に来る。	
15	道案内の看板に恐竜をたくさん書いて、恐竜を前面に押し出す。顔出しパネルをいっぱい作って	フォトスポットをたくさん作る。	
16	中学生で作ったパンフレットを公共の施設においてもらって見てもらうことをしたい。(市長：外国人の人に?) 外国人の人とか県外の人にです。	外国人や国内から来られるお客さんに中学生が作ったパンフレットを渡したいという提案だが、すごくよいことだと思う。ぜひやってほしい。観光振興課を通じて実現したい。荒土の西ヶ原のニンニクを地元の人がものすごく一生懸命作っていて、そのバリエーションで、ニンニクみそなど、二次製品、三次製品を作っている。それを子どもたちがアピールしている。読んだことはある? アピール度がすごく、実際食べなくなるような書き方をしてあるから、子どもたちの考え方とか視点の持ち方とかアピール力が大きいことにびっくりしたことがある。だから、今の提案で、みなさんの見え方、考え方でパンフレットを作ってほしい。ぜひ採用したい。	観光政策課 平成30年4月、恐竜博物館前に「勝山市ジオターミナル」が完成しました。恐竜博物館に来られた観光客への飲食・物販の提供を行うとともに、観光コンシェルジュを配置し観光案内業務を行っているので、パンフレット作成時には活用させていただきたいです。
17	グリコと協力し、恐竜の形のpinoを作るとよいと思う。全国の人がpinoを知っている。勝山オリジナルのご当地pinoを作ると勝山の知名度アップにもつながる。	グリコのpinoはどんなもの?(生徒：小さくて、丸くて、箱に入っている。チョコレートに包まれている丸い食べ物である。)グリコに頼めば、やってくれそうなの? 一つの課題にしよう。	商工振興課 誰でも知っているpinoを、恐竜の形にするという楽しいアイデアをありがとうございます。pinoを恐竜の形にするのは難しいと思いますが、恐竜の形のpinoがあれば、恐竜のまち勝山をアピールする商品として人気が出ると思います。いま、恐竜博物館前の「ジオターミナル」では、恐竜の形をした“溶けないアイスクリーム”が販売され人気です。 勝山市では、市内の地場産品・特産物、恐竜などの地域資源を活かした土産物の開発を推進しています。観光客に販売することで市の観光産業の発展を目指しています。今年の春に恐竜をモチーフにしたお土産物商品が一つ登場する予定で、商品を通じて、勝山の知名度アップにつなげていきたいと考えています。

No.	要望・提案 内容	語る会当日の市長答弁	担当課からの回答
18	<p>総合的な学習の時間には、遠足や14歳の挑戦、修学旅行で学んだことを考えまとめる活動もしてきた。その経験を生かして、学校全体で地域のことを考える活動、勝山全体でつながる活動をもっとしていきたい。例えば、この市長と語る会のように、<u>三中の生徒会と勝山市の企業も交えて、みんなで意見を交換したり交流したりする機会を作るのはどうだろうか。</u>互いの学校や企業の工夫や良いところを取り入れることで、勝山市の活性化にもつながっていく。</p>	<p>14歳の挑戦という素晴らしい取り組みをやっている。いつかは社会に出ていくという中で体験をする、さらには企業の人たちの考えを聞く、たいへんいい取り組みだと評価している。今日の提案はさらにもっと突っ込んで、勝山市の企業人の人たちとも話をしたいという提案で、びっくりした。それだけの意識を持っているということは、商工会議所を通じて、しっかり伝えて、今日のような形でみなさんと企業の人たちが話し合える機会作ってほしい。なぜ大切かという、勝山の企業はわかっているけれど、その企業が何をしているかということがよくわからない人が多いからである。それをもっと広く知ってもらうための方策を勝山市も今考えている。勝山市まちづくり会社という会社があった。この会社が市の考え方と一緒にって冊子を作った。実は勝山の高校生を対象に作ったのだけれど、まさか、君たちがそこまで意識が高いとは思わなかったから、用意しておかなかった。たいへんいい意見と考え方を持っていると思う。中学校の頃からの興味や取り組みは、将来絶対生きてくるし、高校生だけじゃないんだなあということを痛感している。その冊子を見ると、勝山にはこんな企業があつてこんなものを作っているのかということがわかる。ひとつの例を挙げると、桐生選手が福井の陸上競技場で10秒の壁を破った。その時にはいたシューズの布の部分は松文産業が開発して作った。それだけの技術力を持っている。それと同じように、織物は衣服のものだけだったが、今は工用資材や産業資材、メディカルの分野とか、いろんなものに使われていて、トヨタの「ミライ」という水素で走る車の重要な部分も作っていた。企業秘密があるから「これだ」とメーカー側もはっきり言ってくれないが、最先端の技術と研究を含んだチャレンジを勝山市の企業はしているということを知っていてほしい。</p>	<p>商工振興課 勝山市には、繊維製品関連産業をはじめ、優れた技術の蓄積と世界や国内で活躍するオンリーワン技術を持つ企業が、数多く存在します。これらの市内の企業の高い技術力や魅力ある商品を市民に知ってもらうため、毎年10月末に勝山産業フェアが開催されています。昨年は企業や団体が参加し、約三千人の来場がありました。「企業紹介」や「物販・展示」、「企業の技術の体験コーナー」などのブースが設置され、特に体験コーナーでは、普段接することができない市内企業の進んだ技術を体験しようと、行列ができたところもありました。産業フェアは、勝山の企業のオンリーワンの技術や優れた技術を知り、体感する絶好の機会です。今年もジオアリーナを会場に開催する予定ですので、ぜひ、ご参加ください。 ご意見をいただいた、三中の生徒会と勝山市の企業も交えた意見交換会については、商工会議所等の関係機関とも相談し、実施の可能性について考えて行きたいと思えます。</p>
19	<p>14歳の挑戦のような活動をもっと増やしてほしい。勝山全体が一つになってふれあい学べる機会がもっと増えたら、勝山市がもっと活性化するだろう。ふるさと勝山の未来を支える学校ができると思う。</p>	<p>14歳の挑戦の実施に対して、非常に肯定的・意欲的な意見をうかがうことができ、たいへんうれしく思っています。今後も地元企業のみなさんからの協力のもと、継続していく価値の大きな取り組みだと考えます。「さらに、交流をし、もっと勝山市を知りたい」「勝山市の活性化につなげていきたい」「勝山市の未来を支える学校でありたい」という思いに対しても、心が動かされません。 14歳の挑戦の日数を増やすことは、授業時間数の調整の関係で難しい面もありますが、商工振興課や商工会議所など関係諸機関の協力を得て、勝山市の活性化や産業振興に関する情報提供や連絡調整に善処したいと考えます。今後もみなさんからのより具体的な要望を待っています。</p>	<p>学校教育課 14歳の挑戦の実施に対して、非常に肯定的・意欲的な意見をうかがうことができ、たいへんうれしく思っています。今後も地元企業のみなさんからの協力のもと、継続していく価値の大きな取り組みだと考えます。「さらに、交流をし、もっと勝山市を知りたい」「勝山市の活性化につなげていきたい」「勝山市の未来を支える学校でありたい」という思いに対しても、心が動かされません。 14歳の挑戦の日数を増やすことは、授業時間数の調整の関係で難しい面もありますが、商工振興課や商工会議所など関係諸機関の協力を得て、勝山市の活性化や産業振興に関する情報提供や連絡調整に善処したいと考えます。今後もみなさんからのより具体的な要望を待っています。</p>

No.	要望・提案 内容	語る会当日の市長答弁	担当課からの回答
20	<p>道の駅で勝山の名産品や新しく開発したグッズを販売し、より多くの人に勝山のことを知ってもらうために、勝山の名所や恐竜にちなんだキーホルダーを作り販売してみてもどうか。そうすれば、若い世代の方々にも勝山を知ってもらうことができ、SNSなどでのPR効果も期待できる。また、はびりゅうやチャマゴンとのコラボ商品を作り、中学生や高校生のアイディアを取り入れ販売してみるのもよいと思う。勝山の特産品の販売方法としては、朝市を行うとよいのではないだろうか。これからの時期ではサトイモ、春には勝山水菜、夏には妙金ナスや若猪野メロンなどを販売する。ほかにもその季節に取れる新鮮な野菜を提供できるはずである。また、勝山で採れた野菜を使い、料理を提供するのもよいと思う。 わたしたちはこの道の駅の一画で、勝山PRグッズを売ることができればいいなと思う。</p>	<p>松ヶ崎の恐竜橋の九頭竜川のところを整地し始めて、道の駅を作っている。そこでは、勝山の名物をどんどん作って売っていきたい。だから先ほど言った西ヶ原のニンニクもそういうところで売れるし、野向のえごまとか、シーズンになればサバのなれずしとか、これからいろんなことにチャレンジする人が出てくるから、そういう人たちの製品も出てくると思う。みなさんも中学生の立場で、こんなものを作ったらどうかというアイデアと、実際に作ってみて出してみるという機会は十分にある。今までは、考えはあって商品を作っても売出す場所がなかった。勝山の商品として、かろうじてゆめおーれの中のショップでオリジナルなものとか勝山の名物を売っている。それなりにお客さんに来ていただいているけれど、さらに道の駅であれば、恐竜博物館やスキージャンプ勝山に来るお客さんが立ち寄ることになるから、そこで商品に触れて買っていただけるような場面ができる。何年後かになると君たちも十分そういうことに関われるチャンスが今以上にあるから、是非とも期待をもってがんばってほしい。</p> <p>道の駅の運営の方法とか、中に入ってもらえる業者さんとか、勝山の人たちが道の駅で物を売るときにはどうしたらいいのかなど、その仕組みをこれから作ろうとしているところである。だから、先ほど提案のあったことができないか、今からわたしのほうから話をしておく。例えば、朝市をやること、中学校のみなさんがイベントで自分たちでも売ってみたいと思えばやってみるとおもしろいし、オリジナルグッズなどがあるとかかなり名物になるかもしれない。キーホルダーというのはいいアイデアだ。目をつけている業者さんもいるかもしれない。みなさんのアイデアを盛り込んでその業者に提案してもいいと思う。道の駅は日本中に1000か所以上あるらしい。どこも運営には苦労しているというのが実情らしい。しかし、わたしが自信を持っているのは、恐竜博物館に年間100万人近いお客さんが来るし、冬はスキージャンプに20万人以上のお客さんが来る。オールシーズン、お客さんさまを期待できる道の駅だから、みなさんの提案が十分に生かせると思っている。そして、勝山をさらに有名にしていきたい。みなさんの力やアイデアで、それらを具体的な形にしたいから、いろんな取り組みへのアイデアがあったら言ってほしい。</p>	<p>観光政策課</p> <p>荒土町松ヶ崎で建設される勝山市道の駅は地域振興施設も兼ね備えており、2020年春のオープンを目指して準備が進められているところです。</p> <p>地域振興施設の物販スペースで販売する市内地場産品を充実するため、農林水産物出荷者への説明会を行うとともに、飲食スペースでの食事やテイクアウトメニューに地場産品を活用するための取り組みなどが行われております。</p> <p>勝山市役所だけでなく、商工会議所など民間でも地域活性化のための色々な取り組みが行われておりますし、道の駅でのテント市なども検討されておりますので、その際などには積極的な活用をお願いしたいと考えております。</p>

No.	要望・提案 内容	語る会当日の市長答弁	担当課からの回答
21	<p>アユ釣りの時期になると、釣り人が市外や県外からも訪れているのをよく目にする。だが、ぼくたちはアユ釣りをしたことがない。アユを釣るためにはアユ釣り券を購入しなければならず、それは、1日券だと3000円、年間の券になると12000円もする高額なものだからである。釣りの愛好家なら来るかもしれないが、釣りの経験が浅い人や初心者の人は少し来づらいように思う。僕は、幅広い人たちに勝山に来てもらって、勝山のアユや自然を気に入ってもらえたらいいなと思っている。そこで、九頭竜川の一部をアユ釣りができるように開放するというのはどうか。券を購入するよりも安く体験できるスポットを作れば、若い人たちや親子連れなども訪れてくれる。アユを守るために時間を制限したり、安全に釣りをしてもらうために定期的に講習会をするのもいいと思う。2020年には勝山に道の駅ができるという話を聞いたし、先日の福井新聞にもその記事が載っていた。道の駅の近くに体験スポットを作り、中でアユのことをPRしたらいいと思う。</p>	<p>道の駅に対する提案も、ひとつひとつ「なるほどな」と思う提案ばかりで、アユ釣りについては確かに提案された通りだと思う。アユ釣りをやってみようと思うけれど、なかなかできない。無断でやっているか監視を持っているか尋ねられて、持っていないとなると怒られるだろうし、違反していることになる。そうかといって、監視を手に入れようと思うとすごく高い。だから、アユ釣りをすることは、中学生にとってはなかなか難しいことであるということから提案が出てきたのだと思う。今、勝山の漁業組合では、九頭竜川勝山鮎という商標登録をして認められたので、勝山のアユ釣りスポットとしての宣伝と勝山のアユはおいしいというアピールをもっともっていききたいという強い意識を持っているから、その中で今日の提案も伝える。例えば、道の駅の近くの九頭竜川を誰でも入れるような形にして、アユ釣り体験をしてみようという提案は、非常によいことだと思う。アユ釣りはやってみようと思ってもなかなかできない釣り方だから、必ず教えてもらわなければならない。そういう意味でも、体験をするのはいいことだと思う。ただ、漁業組合が子どもたちを対象にアユ釣り体験をしてみようという企画を年に一度ぐらいやっているように聞いている。その取り組みを拡大しながら、一大イベント、大きな行事として取り組んでもらうように提案してみる。</p>	<p>農業政策課 勝山市の中心部を流れる九頭竜川は白山からの雪解け水により新鮮な苔が育ち、アユにとってはまさに楽園といった環境で、全国の釣り人からは「アユ釣りの聖地」と言われているほどです。毎年県内外からたくさんのアユ釣り客が訪れ、平成29年度には約7千人の釣り客が市内を訪れました。 また、この新鮮な苔を食ん(はん)で育った九頭竜川のアユの塩焼きは大変美味しく、「全国清流めぐり利き鮎会」では、平成27、28年度と、2年連続で準グランプリを受賞しました。 このような勝山市が誇る九頭竜川のアユの魅力をさらに広めていこうと、勝山市漁業協同組合、市役所が中心となってさまざまな取り組みを行っています。 それらの取り組みのひとつとして、勝山市内の九頭竜川で獲れたアユを『九頭竜川勝山あゆ』として平成30年9月に特許庁から商標登録を受けました。これをきっかけに九頭竜川のアユの魅力をさらに広くPRしていきたいと考えています。 そのためには、中学生のみなさんをはじめ、市民、観光客がアユ釣りや九頭竜川のアユを身近に親しめる取り組みが必要です。 そのような中、勝山市では2020年にオープンする道の駅「恐竜渓谷かつやま」の中に、九頭竜川のアユの魅力を広く発信する施設をつくります。 そこでは、勝山市漁業協同組合が中心となって、アユのつかみ取り、アユ釣り体験教室、アユの学習会など、アユに関するさまざまなイベントを行い、子どもから大人まで誰もが九頭竜川のアユに親しめるスポットにしていきます。このようなことを通じて、勝山市の豊かな自然に触れ合うきっかけになればと思います。 また、中学生のみなさんにとっては高価な「遊漁券」についてですが、勝山市漁業協同組合では、若者や女性にもアユ釣りの楽しさを広めようと、女性、高校生以下についてはアユの遊漁券(年券)の料金を無料とするサービスを平成27年から行っています。ぜひお友達を誘ってアユ釣りに挑戦してみてください。 また、提案のありました定期的なアユ釣り講習会の開催については、いままで釣りをしたことが無い人も安心してアユ釣りを始めるきっかけとなる良いアイデアなので、現在も年1回行っているアユ釣り体験教室とあわせて道の駅での大きなイベントにできないか漁業協同組合のみなさんとも話し合いながら考えていきます。 これからも、漁業協同組合や市役所はもちろんですが、中学生のみなさんをはじめ市民のみなさんもいっしょになって九頭竜川のアユを全国にPRしていけるような取り組みを進めていきますので、アユについて若いみなさんが考える楽しいアイデアなどいつでもご提案ください。</p>
22	<p>中部中学校では、部活の時にいつも暗くてポールがあまり見えない。毎回野球部の外灯を借りているので、サッカー部にも外灯が欲しい。</p>	<p>(市長) 中部中学校は、野球部には照明があるわけ？(生徒：はい。) 大きなグラウンドの野球をやるところにだけ照明があるということ？(生徒：はい。) サッカー部は離れたところでやっているんだね。だから、暗くなるんだね。(生徒：はい。) なるほど。今、みなさんにとっては大事な問題なんだけれども、中学校を再編するという方向に進んでいて、今あるみなさんの中学校をひとつにするという考え方が大きな主流になっている。それをどこに作るかなど具体的なことは今後まだ時間があるが、そのあたりのさわりを、教育長、話してほしい。 (教育長) グラウンドはやはり暗い？校長先生、暗いですか？(校長：暗いです。) しかし、グラウンドをより明るくしようと思うと相当の設備が必要だね。そのあたりの外灯とは違う。それはつらい。よっぽど具合が悪いようなら別だが、いずれにしても一度現場を見させてもらう。</p>	<p>教育総務課 現在市内3中学校のうちナイター設備があるグラウンドは勝山中部中学校、勝山北部中学校で勝山南部中学校にはありません。設置の経緯は勝山北部中学校は野球用のナイター設備で学校部活動と社会体育に使用されていて、市が設置しました。勝山中部中学校も野球用のナイター設備で過去に野球部の保護者会が設置しました。最近のナイター設備は電柱に8つの灯具が付いたもので1基約800万円ほどします。サッカー場を照らすには多くの電柱が必要になります。ナイター設備を必要に感じていることについては、十分理解できますが、限られた財源を適切に配分したいので、少し離れますが長山公園や弁天公園のグラウンドのナイター設備を使うことも検討してほしいと思います。</p>

No.	要望・提案 内容	語る会当日の市長答弁	担当課からの回答
23	<p>勝山南部中学校では、毎週金曜日にあいさつ隊を行っている。先日行った超スーパーあいさつ隊では、約60人の生徒があいさつ隊員となって朝の玄関を盛り上げた。このような取り組みを勝山市全体で取り入れてほしい。勝山市の雰囲気がとてもよくなる。勝山の良いところは笑顔で挨拶をすればそれが返ってくる場所である。この良いところをもっと生かしていきたい。</p>	<p>あいさつ。大事なことだ。知らない人にでも、にこっとすればそれがあいさつになって返ってくる。大切なことだと思うけれど、知らない人に向かってはなかなかにこっとすることもできないし、にこっとするのも難しい。まず、コミュニケーションはそこから始まる。外国に行くと、知らない人でもエレベーターの中で一緒になると必ずにこっとしてくれて、「どうぞ」とか「お先に」とか非常に心が通じ合うことがある。そういうことも心がけたいし、みなさんの提案で勝山市がそうなるように何か考えなければならない。それには、まず、みなさんが今やっているように、笑顔で友達同士あいさつするか先生にあいさつするか地域の大人にあいさつするか、絶対続けてほしい。それが大きくなっても続いていけば、勝山市全体がそういう町になっていくプロセスとしてたどり着く。今の気持ちを大事に実行してほしい。</p>	<p>生涯学習課                  あいさつ運動は、いくつかの効果が得られます。子どもから大人へ、大人から子どもへ地域住民が「挨拶をする」「挨拶を返す」ことで顔見知りになり、防犯対策として挨拶は効果的であり、近年、重要視されています。また誰か自分に声をかけてくれる人がいる（自分に関心を持ってくれている人がいる）というのは、嬉しいことです。「挨拶」をすることで「前向き」になれる効果もあります。近所で、地域で、勝山市全体が「挨拶の出来る環境」を作ることによって本人の自発性が生まれ、人と人とのつながりが深まります。各学校でのあいさつ運動の取り組みを推進するとともに、かつやまっ子応援プランに「毎日きちんと挨拶をしよう」を市民が“めざす姿”として掲げていますので各地区のかつやまっ子応援ネットワークにおいても取り組んでいきます。</p>